

「第6回&第7回 基本政策検討チーム」 (10/9・10/10)

「第2回&第3回 まち・ひと・しごと創生会議」 (10/31・11/6) 開催報告

公益社団法人 日本ニュービジネス協議会連合会  
専務理事 小泉 覚

「まち・ひと・しごと創生会議」の「基本政策検討チーム」の会議が7回にわたり開催され、池田会長も第6回(10/9)、第7回(10/10)に参加、地域産業基盤政策について協議いたしました。

また、「第2回まち・ひと・しごと創生会議」(10/31)では、一連の「基本政策検討チーム」の議論を参考に、年内にまとめられる予定の「長期ビジョン」および「総合戦略」の論点が示されました。その席で池田会長は、「単にしごとを地方につくればよいという発想では駄目。地方で起業や既存企業のイノベーションにチャレンジしたいと思う人材を発掘し、事業が成功して発展した結果、生まれる雇用でなければ、質の高いしごとは生まれない」と強く主張しました。

さらに1週間後、「第3回まち・ひと・しごと創生会議」(11/6)が、安倍首相を迎えて官邸にて開催され、その席でも池田会長は、「地方創生には、ただカネをバラまくのではなく、挑戦心のある人材をU・I・Jターンにより地方に招き入れ、彼らの事業が成長することによって、質の高い雇用が生まれ、地方が活性化する」と強調、その後の自由討議でも、2度にわたり発言を求め、「地方創生のど真ん中に民間の力がなければ、絶対に成功しない。明治維新でも、渋沢栄一は国難に際して民の力の重要性を認めて野に下り、殖産興業に努めた。大倉喜八郎、益田孝など、皆、民間が国を引っ張った。今一度、地方創生も民の力、地方で頑張っている企業の皆さんの力を活かしてチャレンジをサポートすることが大切」と述べ、各大臣からも、賛意を示すコメントをいただきました。

「会員の皆様からのご意見も出来るだけ会議に反映していきたい」とのことですので、是非ご意見等ございましたら、事務局までお寄せ下さい。

会議の詳細は、官邸HP「まち・ひと・しごと創生会議」↓をご参照下さい。

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/>